

地域教育懇談会だより

郡山市教育委員会

令和7年1月8日(水)

大槻地区「地域教育懇談会」を開催しました

各課、各センターにおける教育施策の説明

学校教育推進課

1人1台タブレット端末を活用した授業の推進、デジタル新聞の活用促進、自他の生命（いのち）を大切にする教育の充実、「安心・安全」に向けた地域との連携等

学校管理課

体力向上のための学校体育の充実、コミュニティ・スクール、働き方改革、部活動等の在り方に関する指針、部活動の地域移行等

教育研修センター

教職員研修の推進、ICTを活用できる環境の充実、オンライン学習教材の活用、情報モラル教育の充実等

総合教育支援センター

不登校児童生徒への支援、心身の健康状態を可視化するツールの活用、いじめ問題や虐待等の対応に向けた体制の整備等

大槻地区「地域教育懇談会」を令和6年12月19日(木)午後6時30分から大槻ふれあいセンターで開催しました。大槻小学校、大槻中学校、大槻中央幼稚園、大槻保育所、ひまわり保育園の保護者や教職員、地域の皆様など、約50名の参加がありました。

前半は、小野義明教育長のあいさつに続き、教育委員会事務局職員が、本市の教育施策について説明しました。

後半はPTA役員、学校運営協議会委員、各小中学校管理職の司会のもと、学校・地域・教育委員会による熱心なグループ協議が行われました。

グループ協議

後半のグループ協議では、地区内の小・中学校を代表して、大槻中学校長から小・中学校の現状や話題提供の理由を話していただいた後、6つのグループに分かれ、様々な立場、視点からの活発な意見交換が行われました。

地区内小・中学校による話題提供

【大槻中学校 積田校長】

- SNSをめぐる問題について〈A・Bグループ〉
- 地域に応援される学校について〈C・Dグループ〉
- 昔の学校、今の学校について〈E・Fグループ〉



地域の皆様から御意見をたくさんいただきました！

<A・Bグループ>

- ・小・中学生のスマートフォン（以下、スマホ）所持率が8割近中で、親は子どもも同士のやりとりを把握しにくい。
- ・親の育児がスマホ依存になっており、幼児期からスマホやタブレット端末で動画視聴が当たり前になっている。
- ・スマホ等の使用により、家庭内でのコミュニケーション力の低下が心配である。
- ・自分で考え、スマホ等を使いこなすことができる子どもを育成していくために、保護者への啓発（情報モラル教育や講習会の内容等）を工夫していきたい。
- ・大人もスマホ等を使いこなせるようにしていくことが必要である。

<C・Dグループ>

- ・自転車の右側通行が多く、速度を上げて走行する小中学生の姿も見られる。交通ルールの遵守等、学校でも安全教育に力を入れてほしい。
- ・地域の祭り等、地域のイベントに子どもたちが参加できるよう、学校行事と重ならない配慮をしてほしい。
- ・学校運営協議会を小中連携授業参観時に実施し、子どもたちの様子を見てもらうことができた。
- ・地域の文化祭で中学生の合唱発表があり、地域の方々も非常に喜んでた。
- ・今年度、中学校が合唱等で素晴らしい実績を残したので、町内会にも情報をたくさん流してもらえると、さらに地域でも応援できる。

<E・Fグループ>

- ・地域をあげて子どもを育てることの大切さは今も昔も同じである。大槻地区は見守り隊のメンバーが他地区よりも多く、地域で子どもたちを育てる意識が強い。
- ・園児が小学校を見学させてもらえた経験は、入学に向けての準備にもなり大変良かった。
- ・タブレット端末を活用した授業について、良し悪しを考えていく必要がある。
- ・様々な価値観に対応できるようにするため、オンラインやアバター等、学びが多様化している。
- ・情報量が多い時代に、情報を取捨選択できる力を養っていきたい。

➡ グループ協議では、貴重な御意見をたくさんいただくことができました。今回の地域教育懇談会がきっかけとなり、学校・家庭・地域の連携がますます図られますよう、今後も御協力をよろしくお願いいたします。